

【エラー時の動作チェックに役立つ機能のご紹介】 V9シリーズ ローカル画面のI/Oチェック機能

通信エラーやタッチスイッチの誤動作の時には、V9のローカル画面のI/Oチェック機能が役立ちます。
Ethernet接続エラー時の原因機器の特定や、タッチスイッチの反応位置の確認・補正ができます!!

Ethernet接続エラーの原因機器の特定

BEFORE

Ethernet 1: n 接続

通信エラー

申請が必要

突然の通信エラー...
ネットワークの接続状況を確認したいが、クリーンルームへPCを持ち込むのが大変...

ネットワークテストを使えば!!

AFTER

Ethernet 1: n 接続

通信エラー

不要

現場のV9だけで、接続エラーの原因となる機器の特定ができます!!

確認手順



ローカル画面>I/Oチェック>ネットワークテスト
[設定IP]に確認したい機器のIPアドレスを入力して[テスト開始]を押します。

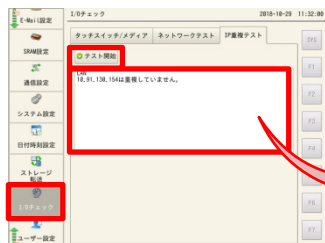
テスト結果 OKの場合

テスト回数	1	2	3	4	5
テスト結果	OK	OK	OK	OK	OK

テスト結果 NGの場合

テスト回数	1	2	3	4	5
テスト結果	NG	NG	NG	NG	NG

IP重複テスト



ローカル画面>I/Oチェック>IP重複テスト
モニタッチ本体で設定しているIPアドレスと他の機器において、IPアドレスが重複していないかチェックできます。

テスト結果 OKの場合

LAN
10.91.138.154は重複していません。
[重複していません。]と表示されます。

テスト結果 NGの場合

LAN
10.91.138.40は下位MACアドレスと重複しています。
【00:18:7F:00:00:23】
IPアドレスが重複している機器のMACアドレスが表示されます。

タッチスイッチの動作確認と補正

BEFORE

スイッチを押しているのに画面が切り替わらない…
押ししても反応しない… スイッチを押してもズレた場所が反応する…

こんな時にタッチスイッチテストをすれば！！

AFTER

タッチスイッチ位置の動作確認と補正ができます！！

確認手順



ローカル画面>I/Oチェック>タッチスイッチ/メディア
[テスト開始]を押すと確認画面に移行します。

・テスト画面
タッチスイッチに誤動作がないか確認できます。
ズレがあるときは[補正(F1)]で補正画面に
移行します。

・タッチスイッチ補正
タッチスイッチの補正ができます。
白い十字線の中心を押して手順を進めます。

